

2023年7月13日
第一工業製薬株式会社

2023年3月期通期 決算説明会 主な質疑応答
(開催日：2023年6月6日 場所：当社東京本社セミナールーム(リアル&WEB 配信))

Q1：前期/前々期実績の営業利益のWFについて教えて欲しい。

A1：販売数量は各セグメントで全体的に下がっている。積極的に開発活動を実施した結果、営業経費の中でも研究開発費が大きく増加した。

Q2：今期業績予想の営業利益WFの詳細について教えて欲しい。

A2：数量効果の増加は、新規用途への採用などが決まっている電子材料用途の販売増によるものである。全体的な販売数量の回復は、今期の下期以降を見込んでおり、緩やかに回復すると見ている。単価効果の増加は、採算是正により収益が改善されたものである。

Q3：光硬化樹脂材料について、今期以降、収益性が回復するという理解で良いか。

A3：一部の製品については、下期以降戻ってくるとの話を顧客より聞いている。現在、開発を進めている製品もあり、今後立ち上がってきた段階で収益に貢献する予定である。

Q4：ライフサイエンス事業の、今後の進め方について教えて欲しい。

A4：①2023年2月認知機能分野で機能性表示食品の届出が完了した「快脳冬虫夏草」を中心とするBtoC、②カイク冬虫夏草粉末やスタチ果皮エキスなど素材販売を狙ったBtoB、③グループ会社である池田薬草の受託事業拡大などにより、事業の早期黒字化を進める。

以上